

# 三菱商事株式会社 財務開発部 活用事例

[professional.ft.com](http://professional.ft.com)



# なぜフィナンシャル タイムズが必要なのか？

## 多面的で真にグローバルなカ バレッジと見解の入手

通常、その事象がおきている国とその他国外といった視点で論じられるケースが多いが、国のレベルにとどまらず大陸を結びつけ、本当に国際的な視点からの分析ということには追随を許さない。

## 良質なコンテンツ

良質の記事を読むことで、クリティカル・シンキング力が身に付く。マクロとミクロのの視点をシンクロした分析。

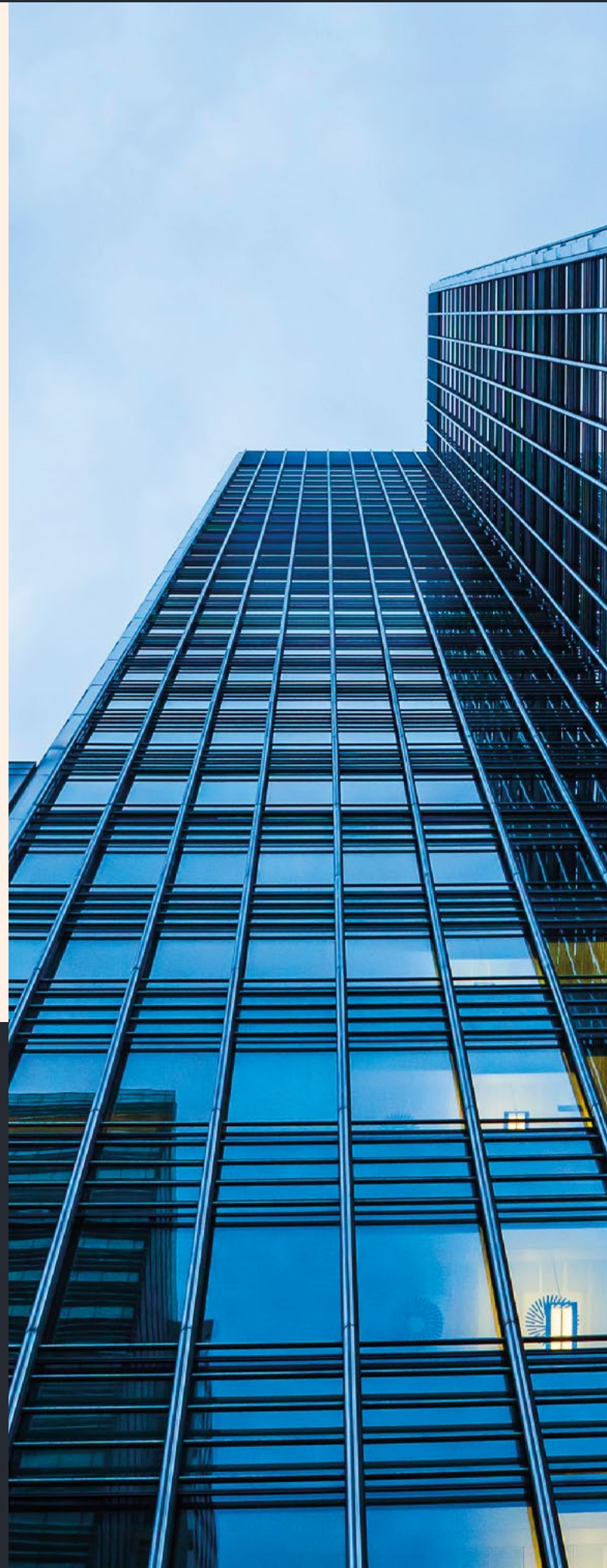
## 活きたケーススタディへのアクセス

専門分野ということもあるが、M&A、資本市場はじめ、グローバルなケーススタディの宝庫。プロ並みの議論の整理を出来るということは、取材される記者の方々のレベルが本当に高いのだろうと感じている。

“

業務の性質ということもあるのか、投資、M&Aというのは詰まるところ将来の話。強烈な好奇心をもっておく必要がある。

DAVID BOWIE



# フィナンシャル・タイムズを通じて組織能力の成長につなげる

## 担当する組織でのFT導入の事例

### 背景と抱えていた課題

殆どの新聞・雑誌の購読が紙ベースのまま、上席より紙ベースで回覧を行っていた。各メンバーと業務を進めていくなかで、各メンバーのインテリジェンスに対する意識、つまりは好奇心も必ずしも高くないことも感じられた。

### 導入

インテリジェンス力を高めるのは各メンバー本人の責任であるとは感じながらも、相応にエントリー・バリアーは存在しているのかもしれない、従い、少なくともインテリジェンスに係るインフラの整備はリーダーシップ側の責任だろうとも考え直し、導入を検討。

### 具体的事例 Salesforce 上での活用

具体的にどの記事を読んでいいのか判らないといった声も聞こえて来ていた頃、ちょうどナレッジ・マネジメントの浸透も意図して、Sales Forceの導入開始。そちらのChatterという機能も活用、各メンバーで参考になった記事等にかかるリンクをシェアすることからはじめる。例えば、インフラセクターにおける大型公表M&A案件に関して、インフラセクターに関係する「インフラ友の会」、またM&Aケースとしても興味深いケースでもあったので「M&A100問100答」というグループを作成しそのメンバー内で共有するという形。また、日本でのM&A動向に関して、日本M&AセクターにかかるFTの記事と外部開催のM&A関連セミナーともリンクさせるなど活用。

### 利用状況レポートの活用

実際、メンバー毎、どの程度の記事にアクセス出来たのかといったデータも定期的に確認。各メンバー、つまりIDごとの実際にみた記事数を見ることにより、各メンバーに閲読記事数にバラつきがあることが判る。また「アメとムチ」的に、意図的に購読メンバー数の上限を設け、利用頻度が低いメンバーには警告を出し、それでも活用が進まないようであれば、アカウントを凍結といった措置もとっている。また、特筆すべきは、相当な購読数が、iPad/iPhoneといったアプリを通じての購読であることも把握し、役立っている。



“

FTをラーニング・プラットフォームとして、グローバル・インテリジェンス力の向上につなげています。

三菱商事株式会社

財務開発部 M&Aアドバイザーチーム チーム  
リーダー 西澤 亮一

